

平成 26 年度 組織球症委員会活動報告

委員：浅野 健、石田也寸志、金兼弘和、子川和宏、鈴木信寛、森本 哲、
前田美穂(委員長・担当理事)

1.平成 27 年 4 月 19 日に本年度第 1 回委員会を開催。

(1)日本小児血液・がん学会組織球症委員会規程についての改正

LCH 類縁疾患より、組織球症と関連した疾患とする。

(2)「小児LCHに対する造血細胞移植の日本小児血液・がん学会会員施設に対するアンケート調査による後方視的共同研究」の臨床研究倫理審査委員会への回答の検討

(3)「2際未満で診断された皮膚単独LCHの疫学ならびに予後因子解明のための後方視的研究」について

・研究計画書を新しい倫理指針である「人を対象とする倫理指針」の形式で書き直す。

(4)JIA 関連 MAS Inclusion Criteria の確定 Genova 会議を受けて；

この議題は、担当の鬼頭先生が急用で出席できなくなったので、メールで討議を行うこととした。

(5)今後の研究課題について

前回の委員会で話のあった稀少組織球症関連疾患についての全国調査を行う。担当は日本医科大学千葉北総病院の浅野先生の予定

2. 疾患委員会の今後について(メール会議)

- ・今回の委員会再編の際に、実質的な研究活動が実施可能な委員会にして頂きたい。
- ・ある程度予算を付けていただき、委員会の枠組みはJCCGでは不可能な仕事を可能になるようなものにする事も大切かと思う。
- ・学会内の疾患委員会でありながら、学会登録症例を閲覧するのに、まず研究計画書作成とIRB承認が必要であることをもう少し、簡素化できないか。
- ・委員の任期はある程度の期間でないと研究が出来ない。6年？

3. 次回の委員会は日本小児血液・がん学会の時に開催予定

文責 前田美穂